

# 心理学基礎実験・実習Ⅰ

専門教育科目 / 1 単位 / S 授業

担当教員 加藤 謙介

■使用テキスト \* 担当教員によるレジュメ等

◆参考テキスト

## 講義概要・一般目標

「心理学基礎実験・実習」は、心理学の様々な「実験」課題への参加を通して、心理学の研究法への理解を深めることを目的としています。

心理学は、人の「心」を知るために、様々な方法を洗練させてきました。「心理学基礎実験・実習Ⅰ」では、心理学の方法論について紹介するとともに、「学習心理学」を中心に、実際にいくつかの実験課題を行います。また、「実験」の結果得られたデータのまとめ方・レポートの書き方についても紹介します。

なお、本科目は、授業内に行われる各実験課題について、それぞれ、レポートとしてまとめることも、重要な課題として位置づけています。実験課題への参加とともに、レポートの執筆・提出も含めて、心理学の研究法への理解を深めてもらいたいと思っています。

受講生の皆さんには、本科目を通して、科学的視点に基づく「問題」の把握／適切な「方法」の選択／適切なデータ分析と「結果」の整理／「考察」の視点設定について学びを深め、基礎心理学的視点から、多様な社会問題に対する「問題発見・解決力」、および、社会の変化に適應するための「自己研鑽力」の修得を期待します。【D(1)(5)】

## 到達目標

- 1) 心理学研究に関わる基礎的な研究方法について説明できる。
- 2) 心理学の書式に即したレポートを作成することができる。
- 3) 心理学の個別分野に関する知見について説明できる。
- 4) 心理学の個別分野に関する実験課題を実施できる。

## 評価方法

以下の5点に基づき、評価を行う。

- (1) 出席状況（遅刻・欠席は不可）、(2) 受講態度、(3) 各実験課題への参加、(4) 授業内での課題レポートの執筆・提出、(5) 最終課題レポートの執筆・提出